

[調査名] 統計データ・アーカイブの整備に関する調査

[目的・概要] 統計データ・アーカイブの検討に当たって、今後の検討の基礎資料を得るために実施するもの。この一環として諸外国における二次的利用制度の最新の状況について調査を実施する。

[調査時期(予定)] 平成23年8月～10月(3ヶ月)

[調査項目]

- ◆ 諸外国における統計データの二次的利用制度の把握及び整理
- ◆ 各省庁における調査票情報の保管状況
- ◆ 国内外における先行事例の把握及び整理
- ◆ データ・アーカイブ構築に関するシステム運営上の要件整理、検討すべき事項及び最新技術の把握
- ◆ 統計データ・アーカイブの持つべき機能、想定される運営方法・体制

◆ 諸外国における統計データの二次的利用制度の把握及び整理

(調査事項; 制度一般・共通)

- サービスのバリエーション・内容、提供方法、利用手順・手続き
- 利用に当たっての制限(利用できる者の範囲(個人、組織等の区分)、利用目的の制限等)
- 費用の有無、積算方法(アカデミックプライス等目的別による区別の有無)
- 提供実績(サービスを実施している統計調査数、提供実績)
- サービス提供者の運営体制、要員、予算

(調査事項; 匿名データ)

- 諸外国で提供している個々の匿名データについて、秘匿の内容、匿名化の程度を把握し、個々の匿名データの客観的な位置付けについて分類
- 情報漏えい対策(利用者側に求めている条件(倫理教育等)、サービス提供者側の対策)
- 教育目的利用に関する匿名データの取扱い(利用環境、アカデミックプライス等の価格設定)

(調査事項;調査票情報)

- 提供サービスの有無
- 提供している場合、その具体的な手続き、利用制限等について、匿名データの調査事項に準じて調査を実施
- 提供していない場合、その理由について確認

◆ 各省庁における調査票情報の保管状況

統計データ・アーカイブの在り方等分析の要件等として活用するため、調査実施者における以下の現況を把握し整理する。

保管している情報の種類、保管媒体・手段、保管期間、保管場所、管理主体、バックアップの状況、セキュリティ対策等

◆ 国内外におけるデータ・アーカイブ先行事例の把握及び整理

国内外のデータ・アーカイブにおける先行事例について、現状を把握し、比較検討できるように整理する。

- ・ 提供サービスに関すること
(提供サービスの種類・内容、利用対象者、提供方法、利用条件、利用手順・手続き等)
- ・ 保管に関すること
(保管しているデータの種類・内容、保管手段、セキュリティ対策・バックアップ状況等)
- ・ 運営に関すること
(運営主体、体制、予算等)

調査候補

国内 SSJDA(東京大)、JEDI(兵庫教育大)

国外 ICPSR(米ミシガン大)、IPUMS(米ミシシッピー大)、StatLib(米カーネギーメロン大)、TheDateWeb(米センサス局)、Data.Gov.(米)、DLI(カナダ統計局)、UKDA(英エセックス大)、Data.Gov.U.K.(英)、GESIS(独ライプニッツ社会科学研究所)、DA(ニュージーランド統計局)等

◆ その他の調査事項

◆ データ・アーカイブ構築に関するシステム運営上の要件整理、検討すべき事項及び最新技術の把握

データ・アーカイブを構築するに当たってシステム上の整理すべき要件、検討事項を明確にするほか、データ・アーカイブを巡る最新の技術動向に係る情報を収集し、整理する。

◆ 統計データ・アーカイブの持つべき機能、想定される運営方法・体制

既存報告書、有識者へのヒアリング等の実施により、データ・アーカイブのあるべき姿を検討の上、具体的な運営の方法、体制等を横断的に精査し、メリット、デメリットを整理する。